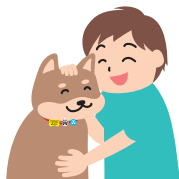


ペットと飼い主の写真を
貼ってください



ペット情報

ペットの名前

種類

性別 おす・めす

不妊去勢手術 実施・未実施

毛色・特徴

生年月日

体重 kg

鑑札No.(犬の場合)

マイクロチップNo.
(15ケタ)

病歴・薬 など

携帯電話やスマートフォンの活用

カメラ機能で

日頃からペットの写真を撮影しておきます。もしもペットとはぐれても、最新の画像で検索できます。

メモ機能で

ペットの健康状態や治療経過、服用薬等の必要な情報を書き込んでおくことで、避難時にペットの記録を持ち出せなくても慌てません。



ペットのための防災用品

救援物資はすぐには届きません。

最低でも5日分のペット用品を備えましょう！

- フード、水、薬
- ケージ（ハウス）、洗濯ネット（猫）
- 新聞紙、タオル
- トイレ用品、ペットシート、猫砂
- 首輪、リード、ハーネス
- ペット手帳、ペットの写真
- ワクチンの接種記録など
- ペット用食器



あとと便利なもの

ガムテープ・養生テープ・白紙・マジック

ハウストレーニング

①はじめに



トレーニング開始約1週間は、キャリーケースは下側のみ使用するか、または前後の扉を開けっぱなしにしておきます。

②キャリーケースに入る

おやつを少しずつ中に入れ何度も入る練習をしましょう。慣れてきたら、徐々にキャリーケースの中にいる時間を延ばします。



③キャリーケースから出る



キャリーケースの扉を開けて、ペットが出てきたら、すぐにおやつを与えましょう。リラックスして②と③ができるようになるまで繰り返します。

④キャリーケースで移動する

●家の中の移動練習

手持ちのハンドルがついていても、両手で持ち、自分の身体に密着させて運ぶようにします。

●車で外出する

車に乗せる、エンジンをかける、短距離のドライブをするなどステップを踏んで慣らしていきます。



あせらず、少しずつハードルを上げていきましょう。

備えよう!人とペットの災害対策/

飼い主のための 防災ハンドブック



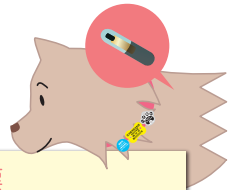
横浜市戸塚福祉保健センター

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 16-17
TEL : 045-866-8476 FAX : 045-866-2513
令和6年11月発行



災害が起こったら?! 日頃の備えがすべて!!

迷子にさせないための対策



首輪・リード、犬鑑札・注射済票
マイクロチップ装着、迷子札

災害の混乱の中では、ペットと離れ離れになってしまうこともあります。迷子になった動物を探す時や、保護された時に必要となるのが飼い主情報です。

大切なペットのために、鑑札や狂犬病予防注射済票（犬）、マイクロチップ装着、迷子札など、平常時から飼い主の明示を徹底しましょう。

普段から首輪を着け、首輪にも連絡先明記を!

地域の避難場所の確認



1. 震災時

いっつき避難場所、広域避難場所→一時的に避難する場所
地域防災拠点（指定避難所）→避難生活を送る場所

地域防災拠点は自宅で生活ができない人が避難生活を送ったり、在宅被災生活者が物資や情報を入手したりする場所です。あらかじめ居住地により地域防災拠点を指定しています。地域防災拠点の運営は、地域・学校・区役所で構成された「地域防災拠点運営委員会」が行います。

《避難指示等の状況・避難所の開設状況を確認できます》



戸塚区役所X(エックス)



横浜市防災情報ポータル

防災に関する情報は

戸塚区 防災



健康管理としつけ



ペット手帳（健康手帳） ワクチン 寄生虫駆除
不妊去勢手術 ハウストレーニング

避難所での生活を考えるうえで、日ごろからの健康管理やしつけが重要です。一時的に動物病院やペットホテルに預ける際も、ワクチン接種や寄生虫の駆除は必須です。

また、不妊去勢手術がされていないと、発情期には鳴き声、咬みつき（犬）、マーキング、臭い、脱走、予期せぬ繁殖などの危険が伴い、周りの人に迷惑をかけることになります。

避難先で困ったこと

- ・犬や猫がハウス（ケージ）の中で騒いでしまう。
- ・他人や自宅以外はどうしてもなじめない。
- ・ペット用トイレで排泄してくれない。
- ・感染症の予防接種をしておらず、預け先が決まらない。

地域防災拠点でのペットの受け入れ



- ・ペットと同行避難できるか
- ・どこでペットを飼育するか（一時飼育場所）
- ・ペットの飼育ルールは決められているか

地域防災拠点では、多くの被災者が共同で生活します。動物アレルギーなどの理由で動物と一緒にいられない人もいます。平常時から地域で行われる訓練などに参加して確認しておきましょう。

「飼い主の会」の立ち上げ

ペットの一時飼育場所の管理や運営は、避難してきた飼い主のみなさん（飼い主の会）が中心となって行います。

避難先・避難方法の選択



- ◆ ペットと一緒に避難所へ（同行避難）
- ◆ 在宅避難 ◆ 人は避難所、ペットは一時預け先

災害が発生したとき、飼い主は、まず自分が無事でいなければなりません。そのうえで、ペットの安全と健康を守り、他の人に迷惑がかからないように適正に飼育管理することが大切です。

犬：リードを付ける。キャリーに入れる。

猫：キャリーに入れる。（できるなら大判のタオルに包んだり洗濯ネットに入れられると安心。キャリーにはペットシートを敷くとおもらし対策になる。）

※キャリーはガムテープで補強し脱走防止。

ペット同行避難とは？

避難行動を示す言葉であり、避難所でペットと人が同室ですごすことではありません。

2. 風水害時

災害の規模や状況に応じて地区センターや学校等を避難場所として開設します。

避難場所の情報を市ホームページ、戸塚区役所ツイッター、横浜市防災情報Eメール(事前登録)等で確認しておきましょう。台風などの風水害は事前に予測できることから、避難が必要になった際に速やかに避難できるよう事前に準備しておくことが大切です。

自分の家族や暮らしに合わせてあらかじめ時系列で整理した避難行動計画（マイ・タイムライン）を作成しましょう。

一時預け先の確保



避難所への同行避難が困難な場合を想定して、あらかじめ一時預け先を確保しておくことが大切です。

災害が発生してから一時預け先を探すことは非常に困難です。